

SUP-GS/OBS V4

online Support Package –GlobalServer/OBServation

SURE/PSYS運用監視ツール

株式会社 富士通アドバンストソリューションズ

目次

1. 目的

2. ソフトウェア構成

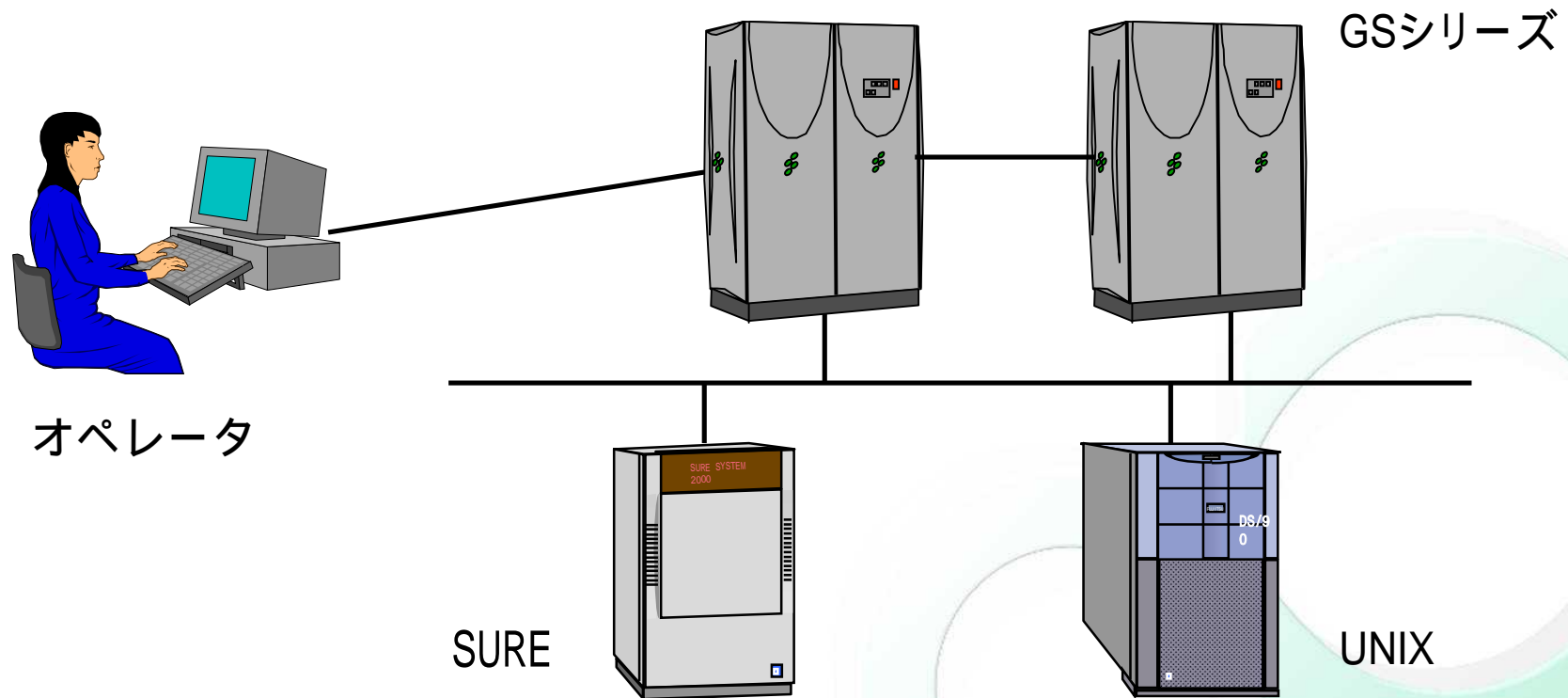
3. 提供機能

3.1 *PSYS*管理 / 監視

3.2 *SURE*管理 / 監視

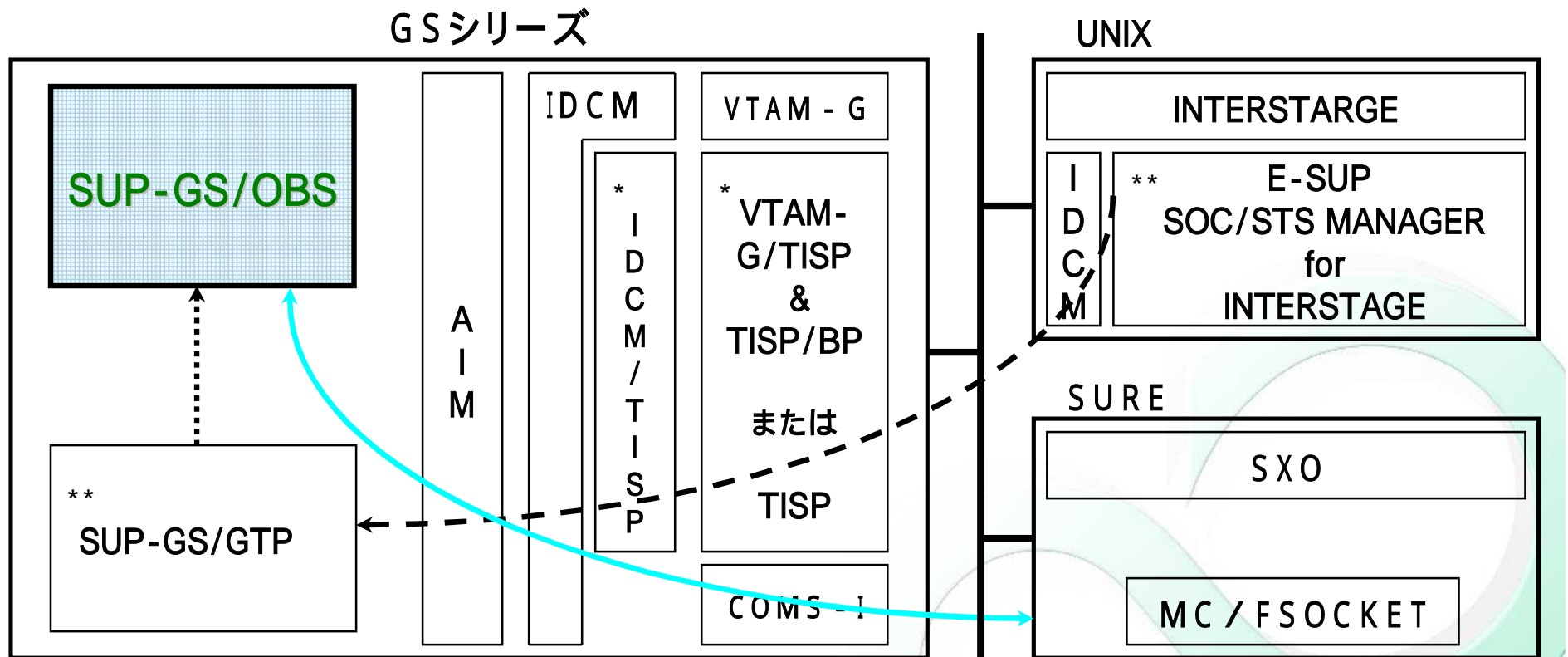
1. 目的

SUP - GS / OBSは、DPCF通信パスの操作 / 監視、およびSUREシステムの操作や運用状況の監視をホスト上で一元管理することで、オペレータの負荷軽減を実現します。



2. ソフトウェア構成

SUP - GS / OBSは, ホスト上でAIM及びCOMS - I配下のアプリケーションとして動作します。

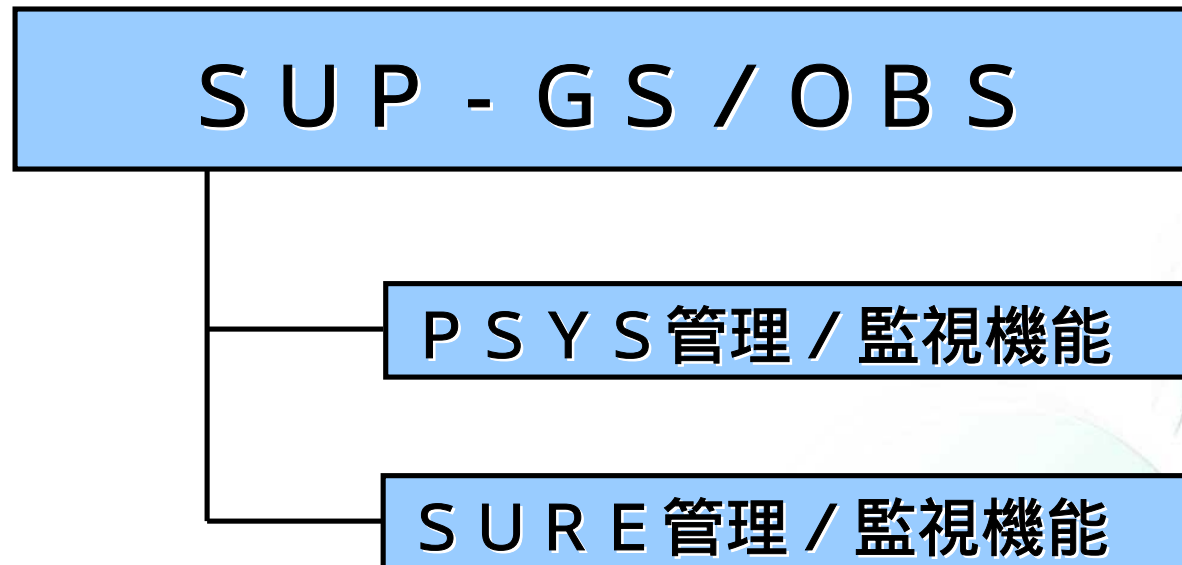


* : GS-UNIX間でDPCF通信パスの管理/監視を行う場合、必須

** : GSと接続するUNIXのうち、Solarisサーバの場合、必須

3 . 提供機能

SUP - GS / OBSでは、DPCF通信パスおよびSUREに関する一連の操作をホスト側より一元的に行うために、以下の機能を提供します。



3.1 P S Y S 管理 / 監視機能

SUP - GS / OBSでは、DPCF通信パスに関する一連の操作（接続 / 切断 / 障害管理）をホスト側より一元的に行います。

● P S Y S パス接続 / 切断

SUP -GS/OBSの操作コマンドにより、AIM, IDCMに対しDPCF通信パスの接続/切断を依頼することができます。

DPCF通信パスの接続/切断はグループ単位でコマンドを発行できます。

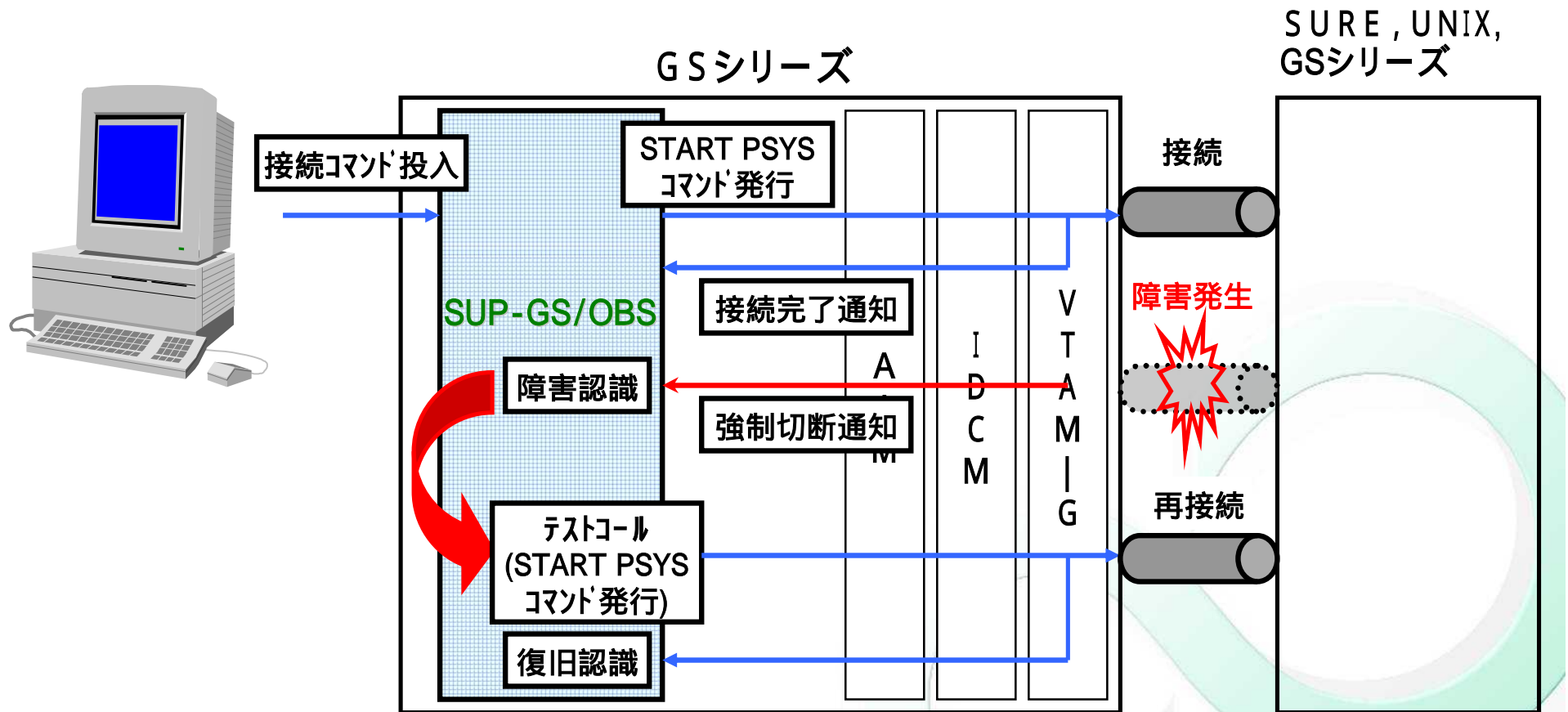
SUP -GS/OBS起動時に、自動接続を指定することもできます。

● P S Y S パス障害管理

AIM, IDCMから通知されるDPCF通信パスの障害を検知し、復旧するまでテストコールを行います。

(1) P S Y S 管理 / 監視の処理概要

DPCF通信パスの接続、切断、障害の自動検出、テストコールによる復旧監視を行います。

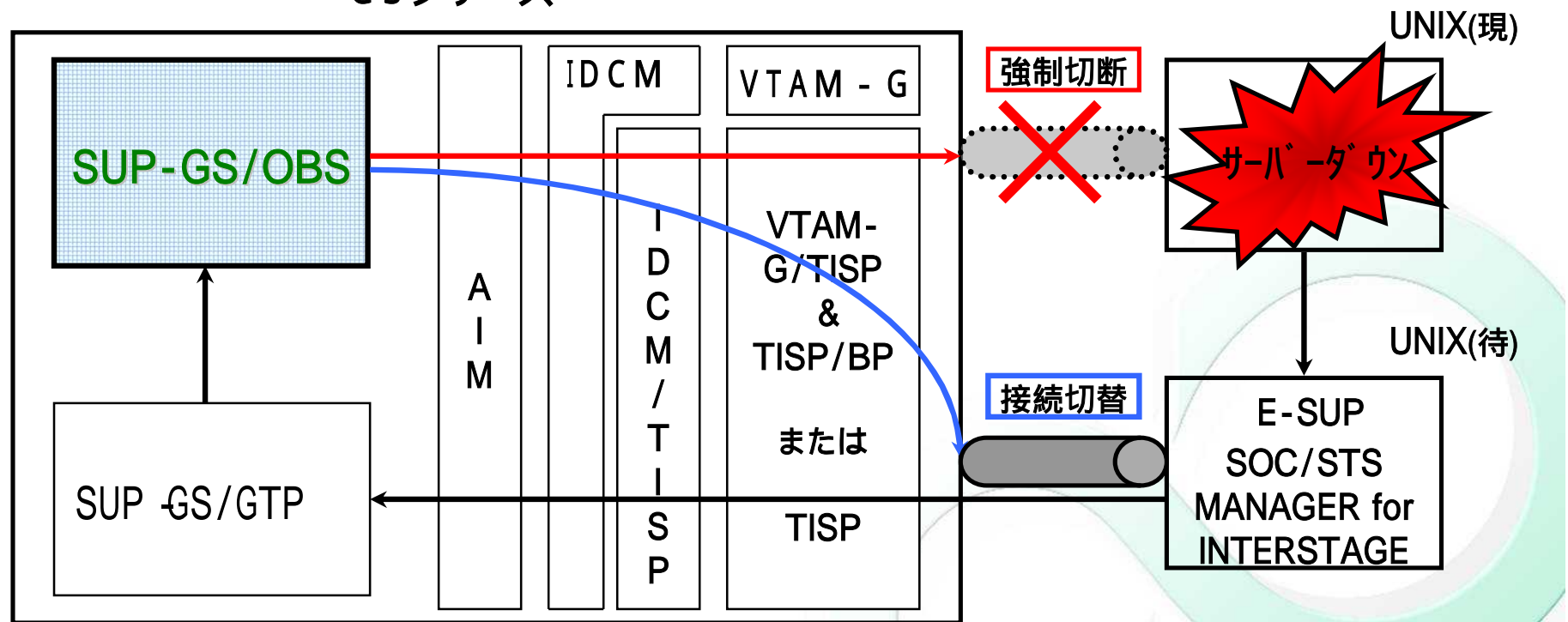


(2) ホスト - UNIX間のP S Y S管理 / 監視

E-SUP SOC/STS MANAGER for INTERSTAGE, SUP-GS/GTP と連携し、UNIX(*)サーバダウンによるDPCF通信パスの強制切断から接続切替までの一連の処理を自動的に行います。

* : Solarisサーバが対象

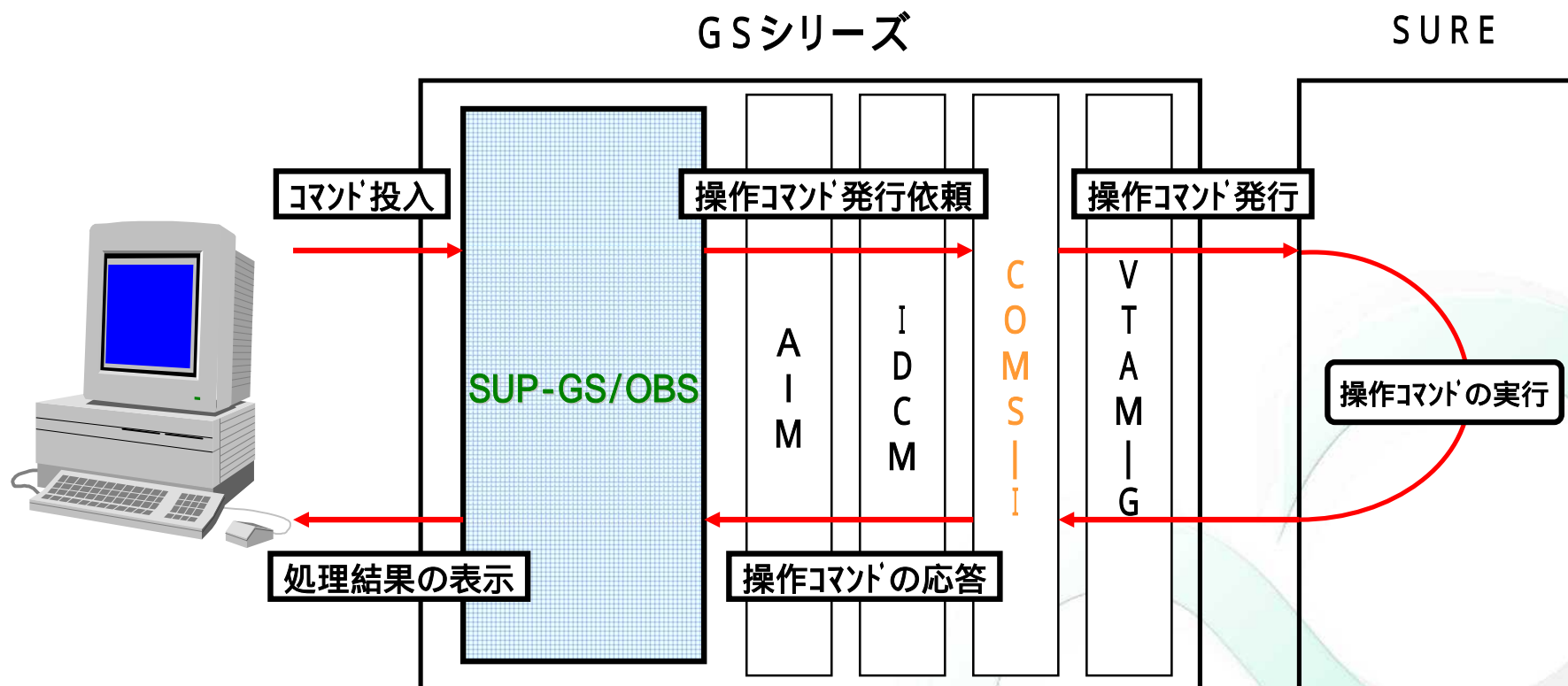
GSシリーズ



3.2 SURE管理 / 監視機能

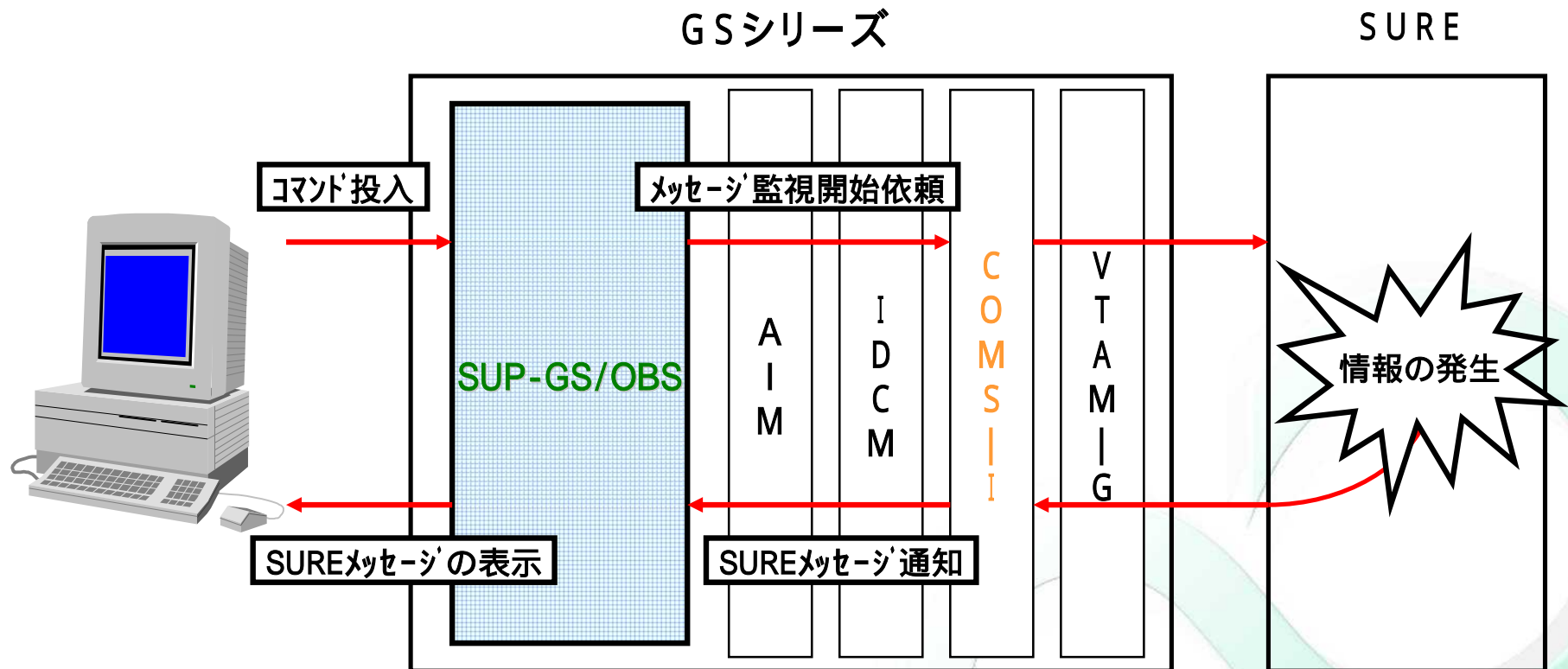
(1) SURE管理

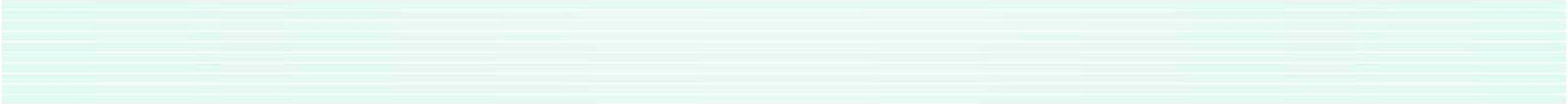
ホスト側からSURE操作コマンドを発行することができます。



(2) SURE 監視

SUREのコンソールメッセージをホストのコンソールに表示することができます。





FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

